

住団連

Vol. 313

令和元年12月号

ホームページに全文掲載しています
<https://www.judanren.or.jp/>

豊かな住生活を
めざして

Contents

令和2年度 住宅・土地関連施策並びに
令和元年度 経済対策（補正予算）に
関する要望活動

国土交通大臣等との懇談会
開催される

小冊子「快適・安心なすまい
なるほど省エネ住宅」増刷のご案内

第15回「家やまちの絵本」コンクール
表彰状授与について

「第5回 住宅政策勉強会」を
開催



◇令和2年度 住宅・土地関連施策並びに 令和元年度 経済対策（補正予算）に関する要望活動

住団連は夏以降、政府・関係省庁に対して令和2年度の住宅・土地関連施策（住宅関係予算・税制改正）並びに令和元年度の経済対策（補正予算）について要望活動を展開して参りました。

令和2年度 住宅・土地関連施策に関しては、「消費税増税後の住宅需要の不測の落込みへの即応」、「消費税増税後の住宅取得環境の維持」、「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略に則した住宅の省エネルギー化の着実な実施」の3つを重点要望事項として要望致しました。

消費税増税後の需要落込み対策として、消費マインドが十分に回復するまでの間、「次世代住宅ポイント制度」の継続を、住宅取得環境の維持については、住宅に関連する既存の税制特例措置9項目の延長、とりわけ、「新築住宅に係る固定資産税の減額措置」と「省エネ改修リフォームに係る既存住宅の固定資産税の特例措置」の延長について強く要望しました。

また、住宅の省エネルギー化の着実な実施に向

け、本年6月に閣議決定された「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」に掲げられた目標（新築住宅等について2030年までに平均でZEHを実現等）の達成のため、ZEH等の省エネ住宅整備補助について必要な予算の確保と運用改善（補助申請の通年・随時受付化、建設工事が年度を跨ぐZEHの補助対象化）について強く訴えて参りました。

令和元年度の経済対策（補正予算）については、「次世代住宅ポイント制度の充実」、「ZEH補助制度の充実」、「災害に強い住宅への改修促進策の充実」について要望致しました。

次世代住宅ポイント制度については、国民への制度の周知徹底と審査手続きの迅速化及び年度末着工要件の緩和を、ZEH補助制度については運用改善（補助申請の随時受付、審査期間の短縮、要件適合住宅への確実な補助の実施、年度を跨いで建設工事を行うZEHの補助対象への追加）とZEH+Rに係る補助予算の追加について力点を置いて要望して参りました。

8月より精力的に下記活動を実施して、政府・関係省庁への理解を求めて参りました。

- ・8月22日：公明党幹部との住宅政策懇談会（令和2年度住宅・土地関連施策要望）
- ・8月22日：「令和2年度住宅・土地関連施策要望書」を国土交通大臣、経済産業大臣、環境大臣に提出
- ・9月26～11月6日：国会議員を個別訪問して令和2年度住宅・土地関連施策を要望
- ・10月23日：公明党 住宅振興議員懇話会（令和2年度住宅・土地関連施策要望）
- ・11月7日：自由民主党 国土・建設関係団体委員会及び国土交通部会 予算・税制等に関する政策懇談会（令和2年度住宅・土地関連施策要望）
- ・11月12日：立憲民主党・国民民主党 共同会派 税制ヒアリング（令和2年度住宅・土地関連施策要望）
- ・11月15日：「経済対策に関する要望書」を国土交通大臣、経済産業大臣、環境大臣に提出
- ・11月20日～29日：国会議員を個別訪問して令和2年度住宅・土地関連施策並びに令和元年度 経済対策（補正予算）を要望
- ・11月21日：国土交通大臣等との懇談会（令和2年度予算・税制に関する重点要望、住宅・住生活を巡る中長期的課題に関する要望）

◇国土交通大臣等との懇談会開催される

11月21日（木）午前8時より、ホテルニューオータニにて、国土交通大臣等と住団連幹部役員との懇談会が開催されました。国土交通省からは赤羽国土交通大臣、御法川副大臣、青木副大臣及び眞鍋住宅局長をはじめとする住宅局幹部職員の皆様が、住団連からは阿部会長及び各会員団体の会長等が一堂に会し、活発な意見交換が行われました。

今回の懇談会では、阿部会長及び各会員団体の会長等が「住宅・住生活を巡る中長期的課題に関する要望」を順次説明し、各団体から提示された要望事項について意見交換が行われました。

懇談の中で赤羽大臣は「住宅ストックの良質化は国民の命を守ることに直結するものであり、空き家対策も防災減災対策の中で考えていかねばならない。また、すぐにできることはすぐにやらなければならないとの考えの下、建設マスター等の標章の使用についてはすぐに検討する。さらに、八王子における既存住宅団地再生の取組みについてもフォローする。一方、

住宅への軽減税率の適用については、今から地道に要望を続けることが実現への近道なのではないか。」等の認識を示されました。

御法川副大臣からは「日本の住宅市場において住宅産業界がより効果的な活動を展開できるようにするには、何にフォーカスを当てるべきなのか」とのご質問を頂き、改めて回答することとなりました。また、青木副大臣は「長期的に考えなければいけないことをしっかりと整理したい」とのお考えを述べられました。



◇小冊子「快適・安心なすまい なるほど省エネ住宅」増刷のご案内

当連合会では、住宅事業者が消費者に省エネ住宅の説明をするためのツールとして、昨年末に小冊子「快適・安心なすまい なるほど省エネ住宅」を発行させていただきましたが、好評につき、この度増刷しましたのでご案内致します。



【注文期間】 制限はございません。

【費用】 小冊子は無料、送料は着払い（有料）となります。

【注文単位】 10部単位 または 1梱包（200部）単位

【注文方法】 FAX 申込みとなりますので、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】（一社）住宅生産団体連合会 藤田

E-mail : h-fujita@judanren.or.jp

TEL : 03-5275-7251 (代)

国土交通省の改正建築物省エネ法 特設サイト内に小冊子の画像データが掲載されました。↓

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/shoenehou/assets/img/library/naruhodosyouenejuutaku.pdf>

◇第15回「家やまの絵本」コンクール
表彰状授与について

令和元年台風19号の接近により、10月12日（土）に東京プリンスホテルにて開催予定の「家やまの絵本」コンクール表彰式が中止となったため、受賞者及び学校と協議の上、個別対応にて表彰式を実施することになりました。

文部科学大臣賞の受賞者2名には、学校訪問の上、小田副会長・専務理事より表彰状の授与を行いました。

文部科学大臣賞（子どもの部）

舌間 結香さん 直方市立福地小学校 3年生（福岡県）



た。11/19に直方市立福地小学校の舌間結香さん（子どもの部）、11/1に宮若市立宮若西中学校の入江綾乃さん（中学生・高校生の部）への表彰が行われましたが、両校ともに全校集会を開き、学校全体で受賞者を祝福し、喜びを分かち合いました。

小田副会長・専務理事からは、表彰状の授与とともに、全校生徒に向けて本企画の主旨と来年度のさらなる応募のお願いがなされました。

文部科学大臣賞（中学生・高校生の部）

入江 綾乃さん 宮若市立宮若西中学校 3年生（福岡県）



◇「第5回 住宅政策勉強会」を開催

日時：令和元年11月25日（月）16:00～17:30
 場所：（一社）住宅生産団体連合会 A会議室
 講師：横浜国立大学副学長 中村 文彦 教授
 参加者：住団連会員団体及び会員企業より 24名

テーマ：「まちづくりの未来を支える都市交通の論点」

■ 都市交通について

交通政策の課題とは何なのか？

- 安全で円滑だけでは済まされない
- 社会課題の解決や、都市・地域の持続可能性のために
- 生活の質の確保、保持、改善&向上のために
 ⇒自家用車への過度な依存からの脱却が必要。

■ 都市交通の論点

都市交通の目標と課題

Keywords for discussion
提起するキーワード

WALKABLE
RELIABLE
ENJOYABLE
SUSTAINABLE

RELIABLE (public transport)



新しいキーワード（三題漸）→シェアリング、自動運転、MaaS

- シェアリング
公共交通利用を減らし、道路混雑を増やしている
- 自動運転
まだまだお金がかかる
バスには運賃箱と乗務員が義務づけられている
- MaaS
個別の交通手段の質が悪いまま？
地域のすべての移動選択肢を含めていない

需要タイプごとに異なる MaaS

需要	対象政策	対象需要
都市中心部	歩きやすくする 自家用車利用依存を下げる	徒歩 自転車、自転車シェアリング 公共交通
郊外	幹線公共交通アクセス支援 二台目自家用車保有自粛 自家用車利用依存を下げる	公共交通 パークアンドライド オンデマンドバス 鉄道端末での自転車シェア、カーシェア、ライドシェア等
中山間地域等	高齢者の外出奨励 公共交通の効率性向上	オンデマンドバス カーシェア、ライドシェア
都市間	自家用車利用依存を下げる 温室効果ガスをより減らす 駅アクセス交通支援	アクセス交通手段とセットでの対応 宿泊予約やレンタカーと連動

■ まとめ

- 自家用車への過度な依存の弊害からの脱却
まず安全→交通事故をなくす& 安全に避難できる
免許返納の前に、車使わなくても済む機会をいかに多くつくるか
- 人間中心のまちづくりに資する都市交通へ
縦に割れすぎている供給側の発想の大改革
交通と福祉と環境と経済発展？
- 都市交通の新技术キーワード→MaaS、シェアリング、自動運転
MaaSは、つなげるきっかけになる
交通手段間を、生活と交通を、将来ビジョン（目的）と政策ツール（手段）を

要旨：

街づくりにおける交通政策の課題とは何なのか？安全で円滑（渋滞解消）なのは当然である。社会課題の解決や、都市・地域の持続可能性のため、生活の質の確保、保持、改善&向上のためには、自家用車への過度な依存から脱却し、街のかたちを変えていくことが必要だ。

新しいキーワードはシェアリング、自動運転、MaaSの3つだ。車しかないという場面から、車でなくてもいい場面を見せることにより、大枠の政策課題である環境改善、交通事故抑止、高齢者社会包摂、防災、地方都市中心市街地活性化、を後押しする時の仕掛けとしてMaaSがあり得る。

福祉や医療、子育て、教育の分野との連携も求められており、交通計画の専門だけでなく、それぞれの政策領域にいる事業者が考えていく必要がある。自動運転の発達のその先を見据えるならば、移動という道具、モビリティ、アクセスをどう考え、街のあり方をイメージして、その中にどんな住まいが並んでいくことが望ましいかの議論をするべきである。

<委員会活動（10/16～11/15）>

[運営委員会]

◎運営委員会

第283回

11月6日

(審議事項)

1. 専門委員会委員の推薦に関する件。
(報告事項)
1. 「政策委員会支援ワーキング」設置について。
2. 「省エネ計算の実践講習会」について。
3. 「成熟社会居住委員会」委員の推薦について。
4. 第31回住生活月間中央イベント関連の報告について。

[政策委員会]

◎政策委員会支援WG

11月12日

- ・ 社会資本整備審議会住宅宅地分科会（10/29開催）開催報告・資料の共有 ⇒事務局より報告ならびに資料の説明。
- ・ 「ストックからの視点」について議論 ⇒メンバー間で議論した内容を整理し、次回の住宅宅地分科会勉強会に向け資料を準備する。「新築不要論」に反論できるデータ等を集めることとした。

[専門委員会]

◎住宅税制・金融小委員会

10月25日

- ・ 住宅税制の抜本的改正に向けた勉強会実施：2回目
講師：一橋大学 佐藤 主光 教授
⇒住宅と消費税をテーマにヒアリングと意見交換を実施。

住宅性能向上委員会WG

10月28日

- ・ 住宅政策の動向について／国土交通省住宅局住宅生産課 ⇒住宅瑕疵担保履行制度のあり方に関する検討会報告書について。「改正建築物省エネ法の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令案等」に関するパブリックコメントの結果概要及びこれに対する対応等について報告、意見交換。
- ・ 「省エネ基準適合に向けたロードマップ」策定・公開について ⇒10/10ロードマップ公開について報告。
- ・ SWG1・SWG2活動報告
⇒SWG1：長期優良住宅認定基準等に関する検討ワーキンググループ（第3回）について報告。10/11住宅性能関係制度の合理化要望提出について報告、環境室より回答。住宅トプラン

ナー制度の運用に関する課題について、「エネルギー消費性能に関する技術情報」及び「WEBプログラム（住宅版）」の更新に関する意見について報告。

⇒SWG2：省エネ基準適合に向けたSWG2活動状況・講習会計画について報告。

- ・ 下水道への紙オムツ受入実現に向けた検討会（第1回）報告 ⇒9/18検討会について報告。

◎住宅性能向上委員会SWG1

11月7日

- ・ 2019年度住宅性能関係制度の合理化要望について ⇒環境室の回答を共有。
- ・ 改正建築物省エネ法の円滑施行に向けた推進会議について ⇒10/31開催内容の報告。
- ・ β版プログラム切替えについて ⇒意見について討議。
- ・ 長期優良住宅認定基準等に関する検討WGについて ⇒10/23開催内容の報告。
- ・ 住宅トプランナー制度の運用に関する課題について ⇒再整理した意見案を討議。

◎住宅性能向上委員会SWG2

10月29日

- ・ 省エネ基準適合に向けたSWG2活動状況について ⇒講習会等の方向性・課題検討。
- ・ 講習会案内準備とテキストTGについて ⇒役割分担、テキスト進捗状況について討議。
- ・ 事業者向けアンケートについて ⇒役割分担、事業者リスト進捗状況について討議。

◎IoT等先進技術活用WG

10月18日

- ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所様からの情報提供。
- ・ 東京電力パワーグリッド株式会社様からの情報提供。
⇒発表資料に基づき説明と質疑応答。
- ・ 第47回、第48回HEMS専門委員会議事報告。
- ・ 第23回HEMS普及WG議事報告。
- ・ 第1回スマートホーム部会議事報告。
- ・ 第2回スマートホームサイバーセキュリティWG議事報告。
- ・ 第4回、第5回スマートホームデータカタログWG議事報告。
- ・ 経済産業省新エネWG議事報告。
- ・ 第2回太陽光発電システム標準化総合委員会議事報告。
- ・ 太陽光発電パネル火災に関するJEMAからの要請について。
- ・ 感震ブレーカー SWG報告。
⇒議事内容報告と確認。

◎住宅ストック研究会 10月16日
・「リフォーム多能工化推進策」の提言・工事項目案について ⇒10/18建設業課個別相談内容の検討。

11月12日
・リフォーム工事の特性に合わせた緩和要望 ⇒10/18建設業課個別相談、10/29建設業法勉強会の状況報告、10/18議事メモの活用の可能性、展開方法について検討、研究会の次期検討テーマについて検討。

◎技能者問題委員会 10月18日
・住宅工事現場の働き方改革ガイドライン構成案について ⇒10/18、11/15意見を集約して内容修正および補足。
・建設業社会保険推進・処遇改善連絡協議会WGについて ⇒10/18協議会WGでの内容報告。
・建築大工の特定技能外国人の受入れに関する連絡会議 ⇒10/18第2回連絡会議（10/17開催）の概要報告。

11月15日
・11/15連絡会議作業班における進捗状況報告。

◎環境委員会 10月25日
・産廃処理施設見学会 ⇒埼玉県深谷市株式会社シタラ興産のAIを導入したロボットを駆使した先端産廃処理工場を見学。17名参加。

11月19日
・住宅に係わる環境配慮ガイドライン（第2版）改定作業の件 ⇒これまでの意見を集約した案文に対し次回までに加筆修正案を持ち寄る。
・SDGsに関する会員企業等の対応状況調査の件 ⇒内容、文言等検討。令和2年4月頃実施を目指す。
・建設リサイクル法施行状況の評価・点検に関するアンケート（依頼）について（国交省 土地・建設産業局） ⇒約10年毎の定点観測アンケート調査。各団体にて2～4社を目安にアンケートを依頼する。

・建築物石綿含有建材調査者講習機関の講師を対象とした研修の実施教材の作成とそれを用いた講習の実施に関する委員委嘱（依頼）について（厚労省） ⇒（一財）住宅生産振興財団村井委員を推薦するものとする。
・第2回樹脂窓リサイクル検討委員会について（報告） ⇒北海道における樹脂窓リサイクルの状況報告。

◎工事CS・安全委員会 11月8日
・フルハーネス墜落防止用器具について ⇒谷沢製作所様より低層住宅向け器具の説明。

・低層住宅現場におけるメンタルヘルスと職場環境改善 ⇒大和ハウス工業様より低層住宅工事現場でのメンタルヘルス対策について事例発表と解説。メンタルヘルス対策（ストレスチェック）の必要性を確認。

・低層住宅労働災害発生状況調査の今後のあり方について ⇒令和2年1月のアンケート実施に向けて内容及び対象事業者を確定する。

◎建築規制合理化委員会WG 11月11日
・令和3年度（2020年度）建築規制合理化要望案について ⇒提出のあった2案について検討実施する。
・BIM推進会議について ⇒第1回建築BIM環境整備会資料に関する意見を集約する。
・輸送制限緩和SWGについて ⇒10月25日 経団連へ規制緩和提言として3項目を提出する。

10月24日
・SWS試験のJIS改定の進捗状況 ⇒試験方法が「手動」、「半自動」、「全自動」の3つに分類された等の報告をおこなった。

・「小規模建築物基礎設計指針」改定委員会の進捗状況について ⇒適用範囲、二層地盤の考え方についての報告。
・建築技術コンソーシアムにおける進捗状況 ⇒小規模建築物における地盤調査技術の研究会、宅地耐震化技術（既存擁壁背面地盤の補強工法）の開発に向けた研究会の報告をおこなった。

◎建設業法勉強会 10月29日
・リフォーム工事における多能工化の推進について ⇒住宅ストック研究会にて国土交通省土地・建設産業局建設業課と打合せする。
・技術者の配置における技士補制度の活用について ⇒大手住宅メーカーでの活用の可能性について議論をおこなった。
・工場の視察計画について ⇒視察日程及び参加者についての途中報告をおこなった。

◎国際交流委員会 10月16日
・令和元年度海外視察研修報告書の原案を確認 ⇒追加・修正を事務局にて行う。
・令和2年度海外視察研修の訪問国と時期を協議 ⇒時期はオリンピック・パラリンピックと総選挙の日程を考慮し、その日程により行き先候補地を選定した。

11月13日
・令和2年度海外視察研修の訪問国と時期を決定 ⇒方面が決定する。今後、詳細を詰める。



発行日：令和元年12月13日
発行人：小田 広昭
発行：(一社)住宅生産団体連合会
所在地：〒102-0085 東京都千代田区六番町3番地 六番町SKビル2階
TEL03-5275-7251 (代)
ホームページ <https://www.judanren.or.jp/>
E-mail sumai@JUDANREN.or.jp
この機関誌に関するお問い合わせ先：広報部 原田